

はこだて医療・介護連携サマリー モニタリング分析

○ 受け取り側へのアンケート集計結果 分析 H29.6分 (n=45)

1. 区分

① 病院	<u>19件</u>
② 診療所	<u>0件</u>
③ 歯科診療所	<u>0件</u>
④ 介護サービス事業所	
・在宅系サービス	<u>18件</u>
(居宅7件, 包括4件, 訪問介護2件, 訪問看護5件)	
・施設系サービス	<u>8件</u>
(ショートステイ2件, グループホーム1件, サ高住1件, 住宅型有料1件, 特定有料1件, 養護老人ホーム1件, 老健1件)	

2. 受け取ったサマリーの種類

① 基本ツール	42件		
② 応用ツール	48枚/29件		
①付帯 (6枚)	③認知症 (5枚)	④食事摂取 (6枚)	
⑤腹膜灌流 (1枚)	⑥酸素療法 (1枚)	⑦中心静脈 (1枚)	
⑨経管栄養 (4枚)	⑩膀胱留置カテ (1枚)	⑬特記事項 (23枚)	

3. サマリーの受け取り方法

① 手渡し	13件
② FAX	25件
③ 郵送	6件
④ その他	0件

4. 内容に関して

I 情報の記載順序について

① 見やすい	32件
② 見づらい	10件

(具体的に)

- ・字が小さいので、2枚、3枚に渡ってもフォントの字がもう少し大きいと嬉しい
- ・FAXで確認するため字がつぶれてしまい、記載文字が細かすぎて見づらい
- ・基本ツールの情報量が多く、やや見づらいと感じました
- ・同居家族、主介護者の部分と家族構成図、緊急連絡先が離れているので見づらかった
- ・字が羅列しており、チェック欄が見にくいいため色づけなどあると見やすいと思います
- ・1枚で情報が把握しやすくて見やすいです
- ・確認した項目が順に記載されているので見やすいです

II 情報の内容について

- | | |
|----------|------|
| ① 多い | 5 件 |
| ② 足りない | 6 件 |
| ③ ちょうどよい | 32 件 |

(具体的に)

- ・情報としては伝わりますが、何ができ、何ができないのかわかりません
- ・退院後の受診のめど（身体的にどのような症状があれば）について知りたいです
- ・入院経過、既往歴等がわからない為、看護サマリーも必要。情報がサマリーと連携サマリーと重複しているため記入する側は負担ではないか？
- ・多いとは思いますが不要とは思いません。本人にとって何が重要か、私達にとって何が重要か、その時に必要な情報をアセスメントする能力、収集能力が必要で良い意識づけになると思います
- ・介護サービスや種類、週間スケジュールも見やすくわかりやすいです
- ・項目ごとに細かく分かれていて応用ツールと合わせると全体像の把握が出来るので、基本情報としては十分かと思えます

III 情報の正確さについて

- | | |
|----------|------|
| ① 正確 | 32 件 |
| ② ほぼ正確 | 19 件 |
| ③ 一部誤りあり | 3 件 |
| ④ 不正確 | 0 件 |

(具体的に)

- ・事前に頂いた「基礎情報」と「サマリー」と「ENT 前カンファ」の情報がそれぞれに違いました
- ・ADL、特に移動状況など分かりづらい
- ・エレンタール飲みにくく、ラコールに変えてもらった経緯を本人から伺いました。自分でエレンタールの溶解も難しかったので、何か策がほしかったです
- ・情報と実際に会って面談を行うのとは少し違うことがあります、仕方ない事かと思えます
- ・応用ツールがあることで、医療面等、具体的に知りたかったことが記載されていて分かりやすかったです。退院後の担当者会議となりましたが、スムーズにすすめることができました
- ・入院前の情報がわかりやすく記載されていました

IV その他

- ・看護添書との差がわかりません。病・病だと看護添書で十分な内容だと思います。もし、相談員が利用するのであれば経済的な内容やFa情報、今後の意向が必要かと思えます
- ・入院日、居宅CMの情報、ADLの備考欄があれば
- ・収入や年金などの情報があれば便利かもしれません

- ・基本ツールはNS 添書など情報がリンクしているので、主な活用は応用ツールで良いと思いました
- ・退院調整までの情報はとても流動的で承知しております。カンファで最新情報を確認する重要性を再確認いたしました
- ・本人がカンファレンス時に同席している場合、聞きにくいことが網羅されていて良かった。聞き忘れたことも理解できた
- ・看護サマリーに身長しか記載がない為、身長・体重の欄があってもいいのかなと思いました。情報提供いただき助かりました。ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします
- ・ADLを含めて詳細を記載して頂いたので病棟看護師とも共有しやすかったです
- ・自分でもこのツールを記載したことがある為、どこに何が記入されているかがわかり確認しやすい。評価日は必ず記載した方が良いと考えます
- ・認知症管理については詳細記入あり。参考になっています
- ・特記事項で補足があったので助かりました
- ・リハビリから：在宅での状況がよくわかり助かり解りやすい
- ・基本ツールの他にこれまでの経過が情報として頂けると対象者への状態像がつかみやすいです
- ・この様にルーチンで情報が来るとその方の人生の一部として責任を持って次につながるという思いになります。過去の情報があることで現在・未来につなげやすいです

はこだて医療・介護連携サマリーに係るヒアリング調査項目

記入日 平成 年 月 日

事業所名 _____ ご担当者 _____

期間 平成29年 6月 1日 ~ 平成29年 6月30日

総件数 _____ 件

総件数内訳 () → () 件 () → () 件

() → () 件

(上記は (病院) → (在宅) ○○件 と記載をお願いします)

「はこだて医療・介護連携サマリー」についてお聞きします

1) 記入項目について

(情報の記載順序について)

- ① 書きやすい ②書きづらい

(具体的に)

・

・

(情報の内容について)

- ① 多い ②足りない ③ちょうどよい

(具体的に)

・

・

2) 提出先からの問い合わせの有無・その内容について記載して下さい

- ① あり ②なし

(具体的に)

・

・

3) 多職種との協働記載の有無・その内容について記載して下さい

- ① あり ②なし

(具体的に)

・

・

4) その他、ご意見やご要望などあれば記載して下さい

・

・

はこだて医療・介護連携サマリー モニタリング分析

○ 提供側へのアンケート集計結果 分析 H29.6分 (n=19)

1) 記入項目について

(情報の記載順序について)

- | | |
|--------|-----|
| ①書きやすい | 15件 |
| ②書きづらい | 4件 |

(具体的に)

- ・既往歴の欄が小さい。医療情報（既往歴）が多い方の場合、記載しきれずピックアップして載せている。医療情報等の欄があと1つ2つ欲しい
- ・身体・生活機能については、定型のものでは、表現できにくい。もしくは違う表現の方がわかりやすいという場合は自分で変更している
- ・応用ツール③の認知症管理についてであるが、専門医未受診で認知症の診断は受けていないが、認知症状をお持ちの方の情報記載が、ツール⑧でよいのかツール③に症状を記載したほうがわかりやすいのか迷った。応用ツール③に、「診断を受けていない」項目がなかったので、困りました。（専門医の受診につなげられていない状況のため）
- ・家族構成図が入れ難い
- ・サービス利用状況の週間スケジュールに時間記入があった方が良い
- ・量が多いと感じました。内容が普段、介護事業所などとやり取りしている基本情報とほぼ同じなのに、サマリーの書式に沿って書き写さなければならないのが負担でした。基本情報と不足分を補う形だと負担は少ないのに、と感じました
- ・入力できる文字数が限られている部分は文章をまとめるのが大変
- ・普段使っているサマリーと同じ感じなので大丈夫
- ・応用ツール活用で伝えたい情報の不足分をきまりのない文章で伝える事ができる
- ・ほとんどがチェック形式になっているため、思っていたよりも手間は感じられなかった

(情報の内容について)

- | | |
|---------|-----|
| ①多い | 3件 |
| ②足りない | 4件 |
| ③ちょうどいい | 12件 |

(具体的に)

- ・身体状態。備考欄があれば介助の状況が書ける（細やかな情報となると2度手間）⇒⑧利用
- ・サクシヨンの有無（回数等）の記載箇所がなかった
- ・生活歴や社会背景 etc の記入項目があっても良いと思う
- ・宗教や趣味、嗜好の項目がなかった。（病院から求められることあり）
- ・介護に関する情報が不足（IADL状況、介護状況、健康管理状況[水分、体重、身長 etc]、介護保険情報（負担割合証、所得段階 etc）。在宅情報が足りない
- ・応用ツールの内容に当てはまらないものが出てきたときに悩んだ。口腔ケアの問題であったため、応用④を活用したが、内容が当てはまるものがなかった。全て応用⑧に書いた方が早いと思った
- ・基本ツール①②を作成すれば、必要に応じて応用ツール⑧があるので十分と感じた

- ・今はADL表と重複していて記載が大変であるが、このサマリーのみになるのであれば必要な情報が1枚に納められているので、とてもわかりやすいのではないかと思います
- ・大体の内容が網羅されているので良いと思います
- ・ちょうどよいと思われ、特記事項もあるため記載がしやすく思われる

2) 提出先からの問い合わせの有無・その内容について記載して下さい

- | | |
|-----|-----|
| ①あり | 2件 |
| ②なし | 17件 |

(具体的に)

- ・提出の際に相談員からは、検査入院のため早めの退院となると思われると言われ、サマリ－の提出の対象者は病院側にとって必要ではないとも思われる方もいるのではないのかと思われた
- ・送付先MSWからは「聞いていましたがよくわからなくて・・・」という言葉も

3) 多職種との協働記載の有無・その内容について記載して下さい

- | | |
|-----|-----|
| ①あり | 5件 |
| ②なし | 14件 |

(具体的に)

- ・サマリーを記載することで互いに意識が生まれ、退院時にもスムーズに伝達できると思われ今後も活用したいと思った
- ・軽介護者は医療系サービスの利用率が高くないので多職種との連携機会が少ない
- ・担当PT(通所、訪問リハビリ担当)に入所予定に伴いサマリー作成は依頼
- ・身体・生活機能部分は病棟Nsに聞き取りをして記載した

4) その他、ご意見やご要望など

(サマリーに関するご意見)

- ・もう少し字が大きいと助かります。細かすぎてパッと見が分かりにくい。もっと簡潔でわかりやすい見やすい書式に
- ・基本シートにそのまま打ち込むと見づらさを感じるので、いつもレイアウト変更(中央ぞろえ等)しています
- ・介護度の近くに担当CM欄があればいい(病院⇄病院)
- ・応用ツールが該当しない方については、看護添書の情報で十分だと感じる
- ・ツールに落とすところが迷った。口腔ケアについて記載したかったので、応用④のその他に記載してみた
- ・「移動」手すりや家具に掴まってというのがわりと多い事例だと思うが、当てはまるどころがなかったため、応用ツール⑱に記載しました
- ・ほとんど基本シートと応用⑱の使用で、入院経過や現在の病状については応用⑱のシートで足りている。各応用ツール以外に必要な情報は⑱に記載出来る

- ・医療・介護連携となっているが、介護が絡んでくる部分が見えない。医療だけになっているように感じた。介助方法や生活のパターン、介護者がどのように接すれば良いかという部分がかかっているのでは。介護職の人たちが渡されても分かるだろうか
- ・施設内サマリーと重なる情報が多数あり、統一した情報共有ができ良いのではないだろうか
- ・作っていて負担はなかった。応用ツールの作成となった時にどうか
- ・記入しやすいツールになっている為、あまり負担無く出来良かったです
- ・MSWと連携を図る良いきっかけとなりました
- ・ツールを通して、アセスメントのあり方や不足している部分を振り返ることが出来た
- ・基礎資格によっては、医療面を苦手としてしまう傾向が強いが、このツールを用いることで医療面の知識や視点が必須となるため、医療面を苦手とするCMにとっては、意識を変えることが出来るのではないかと感じた
- ・病院が在宅生活のどのような情報を必要とするか知りたい。応用ツール⑱の有効活用

(その他のご意見)

- ・家族からの入院連絡が遅い場合、他職種の連絡を待っていると1週間を過ぎてしまう可能性があるのでは…と思う。→居宅としての加算「入院時情報連携加算」は入院後7日以内に情報提供しなければ算定できない
- ・事前に入院の有無を本人よりお知らせしてもらえれば、全く入院を把握出来ずにいるケースもあり、病院側に情報提供を行うタイミングについて、病院側から入院を教えていただける病院と全く知らせが無い場合があるため、いつのタイミングが良いのかと感じる。入院時にある程度病院側で聞き取りを行った後であれば、後からの情報提供となると病院側でも今さらとも思われることもあるため、出来れば入院日から3日程度までの提出等。逆に意見を病院側から聞ければ早めの提供を行おうと思う
- ・できるだけ、入院後1週間以内に渡せるように心掛けていた
- ・入院のタイミングによっては出す側と受け取る側の温度差があると思う。せつかくのツールがあっても、提供する側、提供される側の意識が大切だと思う
- ・応用ツール作成に伴い、多職種への依頼や不足している情報がある場合、確認のための時間がかかり提出が遅くなってしまう
- ・医療情報に関しては、退院時等医療機関より提供されない情報もあるため、十分に記載することが出来なかった
- ・すでに医療機関が持っている情報については、応用ツールによる情報提供はせず、医療機関が対応に苦慮するであろう内容に関する情報を記載したが、医療機関がどこまで活用できているのかわからない。実際に医療機関に不満を持たれており、家族の対応に注意が必要な状態で、医療機関も把握していたが、対応時の注意点や家族の施行等について情報提供しても十分に活用できていない様子がみられた
- ・医療側からも提供を受けたが、検査データとかの項目が分からず調べたりした。できれば分かるように記載してほしい
- ・ターミナル等で在宅に支援する場合、現時点では連携シートを使用することがなく、退院支援側で作成しているシートや看護サマリーを利用していることが、ほとんどの現状です
- ・連携に関わる全ての患者に対しての情報シートとしては記載項目が多すぎる

- ・連携の際に必要な情報（特にお互いに情報共有が必要な項目）のみに絞っても良いのではないかな
- ・シートのみで患者の状態を把握するには限界がある
- ・意味合いとしては、連携に関するカンファレンス（退院時カンファレンス等）で打ち合わせの際に効率的に行うための情報シートとして使うように様式を決めるのが良いのではないかな。
- ・病院→病院，病院→在宅で共有する情報が違って来るのでサマリーを使う場面を限定してもいいのではないかな
- ・現在までの経過の記入するところが無い